

高知県感染症発生動向調査（月報）

2026年9月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第36週(8月31日～)から第39週(～9月27日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は61.03で8月の41.33と比べて増加した。増加の主たる原因はインフルエンザの増加であり、新型コロナウイルス感染症とRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎も増加した。インフルエンザは第25週以降に増加し、第34週(8月17日～23日)に流行期に入った。インフルエンザが8月に流行開始となるのは、新型インフルエンザのパンデミックが起きた2019年以来となった。

新型コロナウイルス感染症について、2023年5月以降の全国(棒グラフ)と高知県(折れ線グラフ)における定点報告数を図1に示す。これまで夏の流行が恒例で、2026年も6月から増加がみとめたが、その規模は昨年までに比べて小さかった。

1位はインフルエンザで24.48(8月5位4.08)と増加した。2位は感染性胃腸炎、13.58(同1位12.53)で横ばいだった。3位は新型コロナウイルス感染症で8.42(同3位5.56)と増加した。4位は手足口病で5.29(同2位11.13)と減少した。5位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で5.04(同4位4.49)、6位はRSウイルス感染症で4.22(同7位2.42)といずれも増加した。急性呼吸器感染症は212.49で8月の150.66と比べて増加した。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	36週	37週	38週	39週	計
1	インフルエンザ	3.29	5.54	8.48	7.17	24.48
2	感染性胃腸炎	3.86	3.80	3.70	2.22	13.58
3	新型コロナウイルス感染症	2.08	2.44	2.65	1.25	8.42
4	手足口病	1.73	1.45	1.36	0.75	5.29
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.38	1.46	1.48	0.72	5.04
6	RSウイルス感染症	1.02	1.12	1.24	0.84	4.22
	急性呼吸器感染症	48.41	55.87	66.37	41.84	212.49

県内情報

1. 全国との対比(定点当たり報告数)

高知県内における上位6疾患の報告数(表2)の合計は32.33と8月の30.04と比べて横ばいで全国よりも少なかった。

1位はインフルエンザで9.97(8月6位2.64)と増加したが全国よりも少なかった。2位は新型コロナウイルス感染症で9.33(同1位12.05)と減少したが全国と同等だった。3位は感染性胃腸炎で5.58(同2位5.63)と横ばいで全国よりも少なかった。4位はRSウイルス感染症で2.96(同7位1.85)と増加したが全国よりも少なかった。5位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で2.48(同5位2.83)と減少し全国よりも少なかった。6位はマイコプラズマ肺炎で2.01(同8位1.64)と増加し全国と同等だった。

急性呼吸器感染症は149.30で8月の142.06と比べて横ばいで全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	36週	37週	38週	39週	計
1	インフルエンザ	1.70	2.41	3.08	2.78	9.97
2	新型コロナウイルス感染症	2.65	2.43	3.11	1.14	9.33
3	感染性胃腸炎	1.58	1.58	1.47	0.95	5.58
4	RSウイルス感染症	0.53	0.74	0.53	1.16	2.96
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	0.53	1.05	0.53	2.48
6	マイコプラズマ肺炎	0.63	0.75	0.25	0.38	2.01
	急性呼吸器感染症	37.46	39.30	42.24	30.30	149.30

図1 新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告数
-全国と高知県-

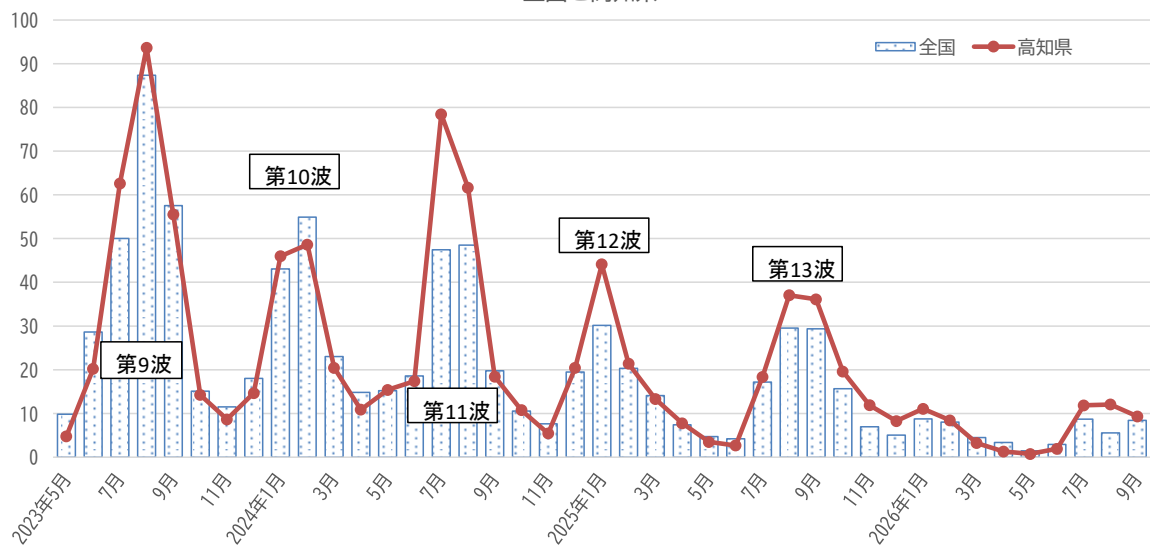
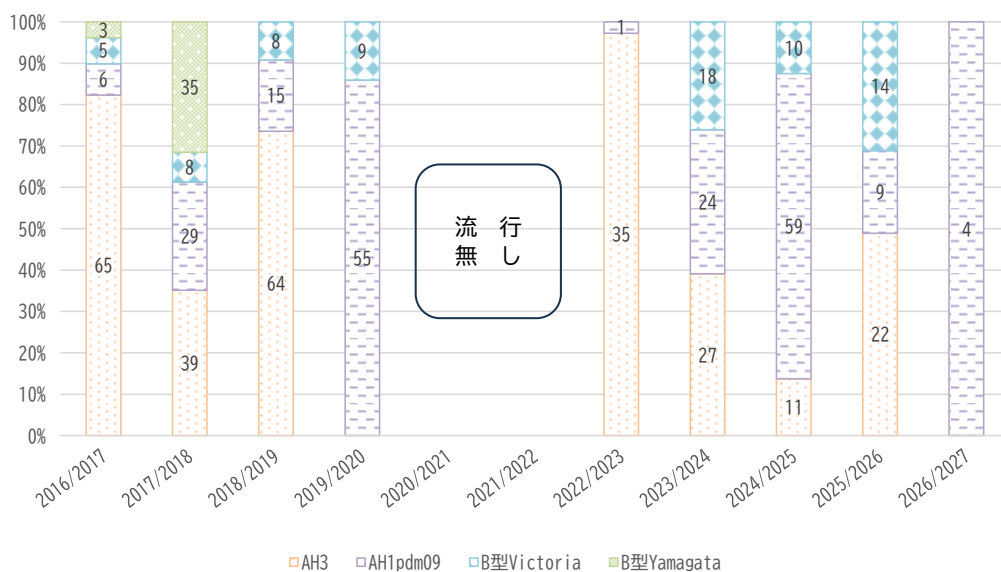


図2 高知県シーズン別インフルエンザ流行株推移



2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

麻しんは、第39週（9月30日）までに国内で576例の麻しん患者が報告され、これは2019年以来の大きな流行であるが、6月以降は報告数のペースが鈍り、38週に再び顕著な増加をみとめた。31都道府県から報告があり、最多は東京で271名、神奈川 49名、埼玉40名、鹿児島 34名、千葉33名、愛知 28名の順に多い。20歳以上の成

人例が71%を占めている。今年の流行は国内での感染例が多くなったが、国外で感染した46名の内訳は、インドネシアが15名で最多、ニュージーランドが7名、ベトナム5名、インド4名と続いている。

ワクチン2回接種の徹底が麻しん対策において最も重要であり、95%の接種率が目標となっている。しかし、高知県では2025年度に第1期が92.9%、第2期は89.6%で、ワクチン接種率が目標値に到達していない。

3. 主な疾患の発生状況

1) 急性呼吸器感染症

報告数 5,524名(8月 5,256名)。高知市、中央西、安芸、中央東、須崎、幡多の順に多く報告された。8月はSARS-CoV-2が5件、Influenza virus AH1pdm09とRhinovirusが各1件検出された。9月はInfluenza virus AH1pdm09が4件、Respiratory syncytial virus Aが2件、Human metapneumovirusが1件検出された。

2) インフルエンザ

報告数 369名(8月 98名)。2023年以降は1年中ゼロになることはなく、2025/26シーズンは11月から流行が始まり、12月をピークとした、高知県としては標準的な規模の流行で、AH3NTが25件、B/Victoriaが16件検出され、これらが主な流行株であった。過去10年間の流行株と検出率を図2に示す。2020/21、21/22シーズンは新型コロナウイルス感染症のパンデミックのためインフルエンザの流行がみられなかった。2018/19シーズン以降は、AH3 NT, AH1pdm09, B/Victoriaの3種類のウイルスのうち1~3種類が流行株となった。

本年は7月に増加に転じたが、この傾向は3年連続である。8月になって定点報告数が週ごとに増加し、第34週0.78から第35週1.59と1を超え、2026/27の流行が始まった。県下全域から報告され、幡多、須崎、高知市、中央西、中央東、安芸の順に多く報告された。ウイルスは急性呼吸器感染症の患者からInfluenza virus AH1 pdm09が4件検出され、流行株と思われる。

3) 新型コロナウイルス感染症

報告数 345名(8月 446名)。図1に2023年5月以降の定点報告数を示す。2022年以降は年末年始と夏に流行がみられていたが2025/26年は年末年始のピークを形成しなかった。本年も6月に増加に転じたが夏の流行規模は前年までよりも小さい。県下全域から報告され、中央西、幡多、高知市、中央東、安芸、須崎の順に多かった。県下でのウイルス株に関する直近の解析では、BA.3.2系統のSS.2が6月1件、7月と8月に2件ずつ検出されている。

4) 咽頭結膜熱

報告数 16名(8月 10名)。須崎＝幡多、高知市、中央東の順に多く報告された。アデノウイルスは検出されていない。

5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 47名(8月 54名)。2024年は過去10年間で最多だったが、2025年以降は平年並で推移している。須崎、高知市、幡多、中央東から表記の順に多く報告された。細菌は検出されていない。

6) 感染性胃腸炎

報告数 106名(8月 107名)。2020年以降は少ない数で推移し、2025年3月に増加がみられたが、その後は平年よりも少ない。7月以降は同時期として過去10年で最少が続いている。県下全域から報告があり、高知市と中央西でとくに多かった。Sapovirus genogroup unknown、*Escherichia coli* astA(+)が各1件検出された。

7) 水痘

報告数 8名(8月 9名)。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移している。中央西、中央東、須崎、高知市の順に多く報告された。

8) 手足口病

報告数 15名(8月 74名)。2024年は、過去10年で最大の流行でCoxsackievirus A6、A10、A16の3種類のウイルスが流行した。本年の流行規模は平年並だった。幡多、高知市、中央西、中央東から表記の順に多く報告された。流行が始まった5月以降に手足口病の患者からCoxsackievirus A6が22件、7月に同A10が1件検出された。

9) 伝染性紅斑

報告数 3名(8月 2名)。2024年10月から増加し、2025年は過去10年間で最多の報告数となった。2026年

9月は高知市から3名が報告され、ウイルスは検出されていない。2026年に同症の患者から検出されたHuman parvovirus B19は2件である。

10) 突発性発疹

報告数 6名 (8月 8名)。想定内の変動である。

11) ヘルパンギーナ

報告数 34名 (8月 57名)。2022年は過去10年間で最小、2023年は最大の流行だった。2025年は5～10月に流行し、流行株はCoxsackievirus A4であった。2026年も5月から流行が始まり、その規模は大きくない。中央東、高知市、中央西、幡多から表記の順に多く報告された。今季は2024年と同様に流行ウイルスが特定されずに終わりそうである。

12) 流行性耳下腺炎

報告数 0名 (8月 2名)。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。

13) RSウイルス感染症

報告数 56名 (8月 35名)。2021年から5年連続で夏季の流行をみとめた。2026年は1月から増加に転じその後は微増を続け、5月以降は波打ちながら報告が続いているが、大きな流行には至っていない。須崎、安芸、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。急性呼吸器感染症の患者からRespiratory syncytial virus Aが2件検出された。

14) 流行性角結膜炎

報告数 0名 (8月 0名)。2018年10月以降は一桁の報告数で推移している。

15) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 2名 (8月 0名)。50代と70歳以上の患者が高知市から報告された。2017年以降は年間一桁の報告数で推移したが、2024年は11名に達した。25年は5名、本年は8名が報告されている。

16) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名 (8月 0名)。2017年以降は年間10名以下の少ない報告数で推移している。

17) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 16名 (8月 13名)。2024年は過去10年間で最大の流行となり、同10月をピークに減少に転じたが25-26年も増減を繰り返しながら報告は続いている。幡多、中央東、高知市から表記の順に多く報告された。

基幹定点の月報疾患

18) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 17名 (8月 22名)。中央東、高知市、幡多から報告があった。

19) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (8月 1名)。年間0～2名の報告にとどまっていたが、2025年は累計4名が報告された。26年は2例が報告されている。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

【参考】

年別全数報告（令和8年9月）

類型	病名	報告年																		
		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026				
2	結核	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	59	49				
	計	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	59	49				
3	コレラ																			
	細菌性赤痢	2																		
	腸管出血性大腸菌感染症	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	12	12				
	腸チフス	1																		
	パラチフス	1																		
	計	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	12	12				
4	A型肝炎	3																		
	E型肝炎	1																		
	オウム病	1																		
	Q熱																			
	サル痘	1																		
	ジカウイルス感染症																			
	重症熱性血小板減少症候群		3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	15	5				
	つつが虫病	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3	6	1				
	デング熱		3	2	1				2											
	日本紅斑熱	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	25	8				
	日本脳炎																			
	マラリア																			
	レジオネラ症	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	11	2				
	レプトスピラ症	2	1				1						1		1	1				
	計	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32	59	20				
5	アメーバ赤痢	3	7		3	2	5	3	3	1		5	1	1						
	ウイルス性肝炎	3	1				2	1	1	2	2	2	1		2					
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		7		19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	13	9				
	急性弛緩性麻痺								1	2	1				2					
	急性脳炎	1	1		1	1	1		2	1	1	2					2	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2							2	1	1	3	1		1	1	2			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	1		3		5	6	2	2	5	4	1	6	2	6				
	後天性免疫不全症候群	3	2	7	6	9	6	9	1	6	6		2	4	3					
	ジアルジア症	1								1									2	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	7	2				
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	17	14				
	水痘（入院例に限る）					2	1	1	3	3		3	3	1	1					
	髄膜炎菌性髄膜炎																5			
	多剤耐性緑膿菌感染症																	1		
	梅毒	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	36	27				
	播種性クリプトコックス症						1	3	5					4	3	1	3			
	破傷風	1	4		3	3	1	1		2	3	1	3	1	1	2				
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				1			1											
	百日咳								173	172	35	3	9	7	4	1327	43			
	風しん	4	9	1																
	麻疹																4			
	計	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	109	97	1424	108				
動物	鳥インフルエンザ																			
	計																			
総計		193	164	210	210	256	238	398	400	214	221	221	216	196	1554	189				

類型	病名	報告月									総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2	結核	4	2	10	7	5	5	6	4	6	49
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1	3		4		1	2	12
4	E型肝炎							1			1
	ジカウイルス感染症									1	1
	重症熱性血小板減少症候群				1	2	1	1			5
	つつが虫病		1								1
	デング熱		1								1
	日本紅斑熱				2	1	1		2	2	8
	レジオネラ症	1								1	2
	レプトスピラ症									1	1
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				2		3	3		1	9
	急性脳炎							1			1
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1			1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			2				2	1	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1		2
	侵襲性肺炎球菌感染症	2		2	1	4	1	2	1	1	14
	多剤耐性緑膿菌感染症									1	1
	梅毒		7		3	3	2	3	5	4	27
	播種性クリプトコックス症						1		1	1	3
	百日咳	9	6	5	1	2	5	5	8	2	43
総計		18	18	18	22	17	24	22	25	25	189

高知県感染症情報 月報（54定点医療機関）

2026年

9月

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症（ARI）	335	765	3,233	568	387	236	5,524	5,256	6,351
	インフルエンザ	12	44	146	35	50	82	369	98	89
	新型コロナウイルス感染症	13	42	136	64	15	75	345	446	1,372
小児科	咽頭結膜熱		1	9		3	3	16	10	16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	29		11	3	47	54	85
	感染性胃腸炎	5	3	74	16	7	1	106	107	135
	水痘		3	2	2	1		8	9	23
	手足口病		1	8	1		5	15	74	42
	伝染性紅斑			3				3	2	52
	突発性発疹		1	4		1		6	8	16
	ヘルパンギーナ		10	19	4		1	34	57	65
	流行性耳下腺炎								2	1
	RSウイルス感染症	7	4	28		17		56	35	173
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎									
STD	性器クラミジア感染症		1	8			1	10	11	5
	性器ヘルペスウイルス感染症								2	2
	尖圭コンジローマ			1				1	2	
	淋菌感染症			1				1	2	1
基幹	細菌性髄膜炎			2				2		
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎		2	5			9	16	13	30
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）									1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		3	13			1	17	22	25
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								1	1
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計(ARIを除く)		37	119	488	122	105	181	1,052	955	2,134
前月		62	120	475	90	120	88			
前年同月		79	305	900	250	238	362			
小児科定点数		1	4	8	2	2	2			

高知県感染症情報 月報（54定点医療機関）

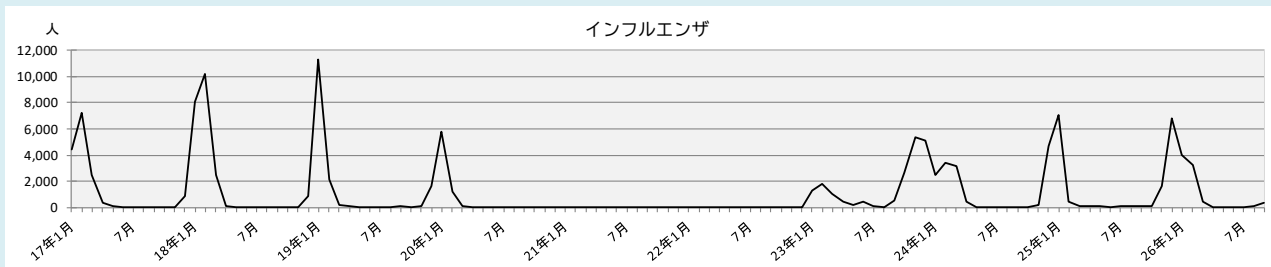
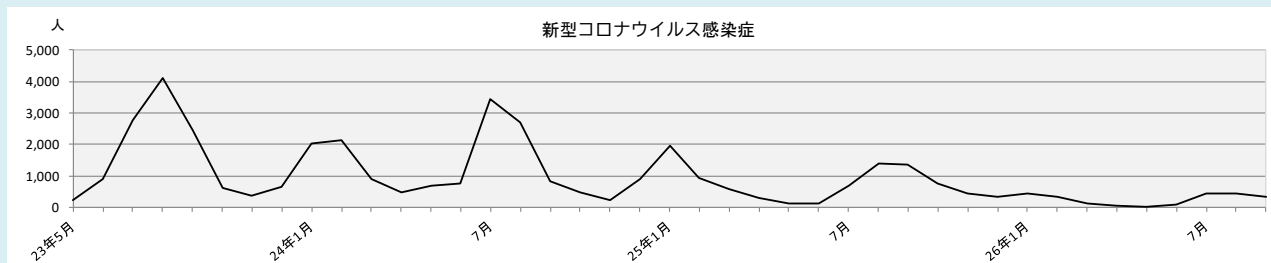
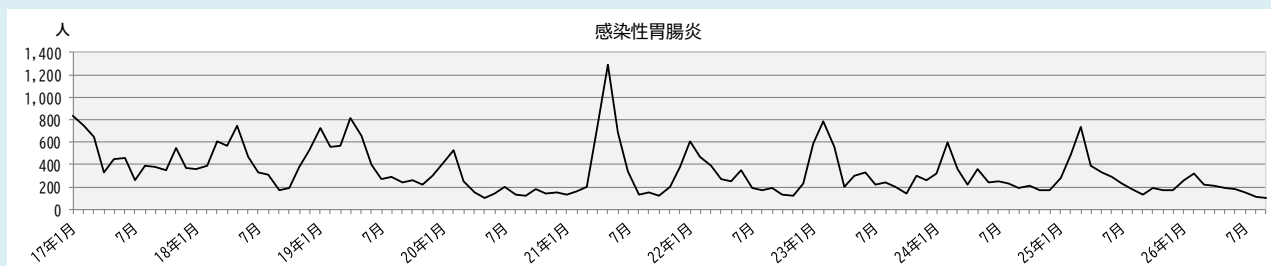
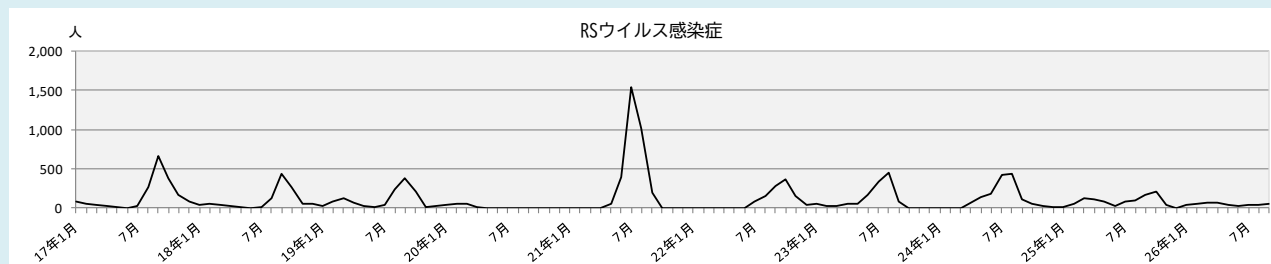
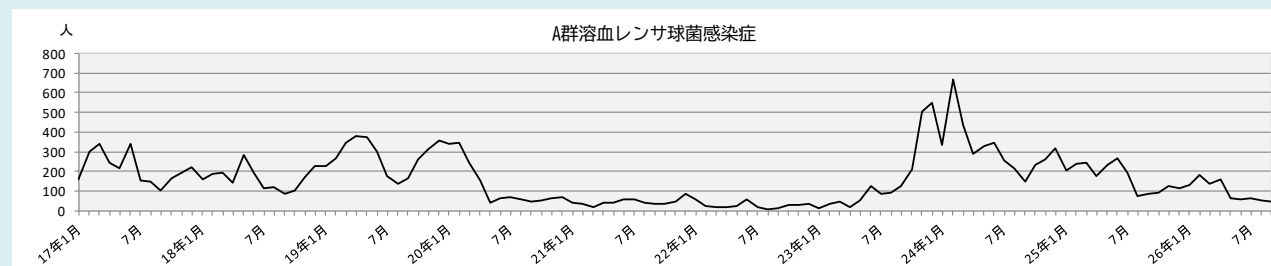
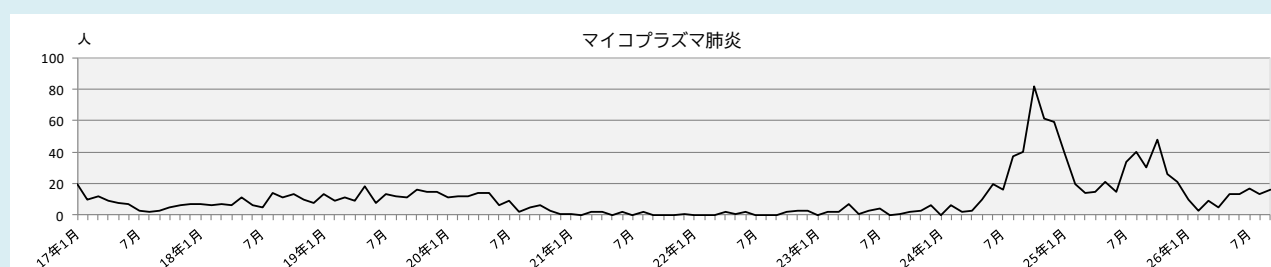
2026年

9月

定点当たりの人数

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症（ARI）	111.67	109.28	248.69	142.00	96.75	39.33	149.30	142.06	167.12
	インフルエンザ	3.99	6.27	11.23	8.75	12.50	13.67	9.97	2.64	2.35
	新型コロナウイルス感染症	4.33	6.00	10.46	16.00	3.75	12.50	9.33	12.05	36.11
小児科	咽頭結膜熱		0.25	1.13		1.50	1.50	0.85	0.52	0.80
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	3.64		5.50	1.50	2.48	2.83	4.25
	感染性胃腸炎	5.00	0.75	9.26	8.00	3.50	0.50	5.58	5.63	6.75
	水痘		0.75	0.25	1.00	0.50		0.43	0.48	1.15
	手足口病		0.25	1.01	0.50		2.50	0.79	3.89	2.10
	伝染性紅斑			0.38				0.16	0.10	2.60
	突発性発疹		0.25	0.51		0.50		0.31	0.43	0.80
	ヘルパンギーナ		2.50	2.39	2.00		0.50	1.78	3.00	3.25
	流行性耳下腺炎								0.10	0.05
	RSウイルス感染症	7.00	1.00	3.51		8.50		2.96	1.85	8.65
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎									
STD	性器クラミジア感染症		0.50	4.00			0.50	1.67	1.83	0.83
	性器ヘルペスウイルス感染症								0.33	0.33
	尖圭コンジローマ			0.50				0.17	0.33	
	淋菌感染症			0.50				0.17	0.33	0.17
基幹	細菌性髄膜炎			0.40				0.26		
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎		2.00	1.00			9.00	2.01	1.64	3.76
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）									
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）									0.13
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		3.00	2.60			1.00	2.13	2.75	3.13
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								0.13	0.13
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		20.32	24.52	52.77	36.25	36.25	43.17	34.64	33.52	68.86
前月		33.34	25.11	56.49	28.25	38.50	30.34			
前年同月		28.33	52.03	81.07	69.00	77.00	68.65			

高知県の注目される疾患の月別推移



高 知 県 感 染 症 情 報（月報） 2026年9月							
検査情報 ウイルス，細菌の分離状況							
令和8年9月はウイルス24件、細菌3件の搬入があり、そのうち ウイルス4件の病原体を検出し、8月に搬入された検体からウイルス8件、細菌1件が検出された。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus11 1件、Coxsackievirus A6 1件、 Human metapneumovirus 1件、Influenza virus A H1pdm09 4件、Respiratory syncytial virus A 2件、Rhinovirus 2件、Sapovirus genogroup unknown 1件、細菌の内訳は、 <i>Escherichia coli</i> astA(+) 1件であった。							
ウイルス，細菌の分離状況							
No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	3	女	上気道炎	39℃，上気道炎，発疹，結膜炎，	ぬぐい液	8/13	Rhinovirus
2	5	男	咽頭結膜熱	38℃，下痢，結膜炎，	ぬぐい液	8/18	Adenovirus 11
3	4	男	ヘルペスウイルス感染疑い	口内炎，	ぬぐい液	8/18	Rhinovirus
4	3か月	女	感染性胃腸炎	38℃，下痢，	ふん便	8/23	<i>Escherichia coli</i> astA(+)
5	7	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃，咳嗽，	ぬぐい液	8/24	Influenza virus A H1pdm09
6	9	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃，嘔吐，咳嗽，	ぬぐい液	8/26	Influenza virus A H1pdm09
7	12	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃，咳嗽，	ぬぐい液	8/28	Influenza virus A H1pdm09
8	6	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	38℃，	ぬぐい液	8/28	Influenza virus A H1pdm09
9	8	男	不明発疹症	39℃，発疹，	ぬぐい液	8/31	Coxsackievirus A6
10	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽，	ぬぐい液	9/1	Human metapneumovirus
							Respiratory syncytial virus A
11	1	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃，咳嗽，	ぬぐい液	9/7	Respiratory syncytial virus A
12	1	女	感染性胃腸炎	下痢，嘔吐，	ふん便	9/12	Sapovirus genogroup unknown

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2026年										2026年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> T4			1							1	
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264			2							2	
	計			3							3	
RSウイルス感染症	Adenovirus 1			1							1	
	Respiratory syncytial virus B			2							2	
	計			3							3	
咽頭結膜熱	Adenovirus 11								1		1	
	Adenovirus C										0	
	Respiratory syncytial virus B			1							1	
	計			1					1		2	
インフルエンザ	Influenza virus A H1pdm09										0	
	Influenza virus A NT										0	
	Influenza virus A H3 NT	1									1	
	Influenza virus B/Victoria										0	
	計	1									1	
感染性胃腸炎	<i>Escherichia coli</i> afaD								1		1	
	Astrovirus NT		2								2	
	Norovirus GII NT	1	4	1	5	7			1		19	
	Sapovirus genogroup unknown		1						2	1	4	
	Rhinovirus					1		1			2	
	<i>Escherichia coli</i> astA(+)									1	1	
	計	1	7	1	5	8		1	4	2	29	
水痘	Human herpes virus 7				1	1					2	
	Influenza virus A NT	1									1	
	Influenza virus A H3 NT	1									1	
	Varicella-zoster virus	2			1	1			1		5	
	Rhinovirus						1				1	
	計	4			2	2	1		1		10	

臨床診断名	病原微生物	2026年									2026年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
手足口病	Coxsackievirus A4										0
	Coxsackievirus A6					2	10	7	3		22
	Coxsackievirus A10							1			1
	Cytomegalovirus					1	3	2			6
	Epstein-Barr virus		1								1
	Human herpes virus 6					2	3	1			6
	Human herpes virus 7		2			1	2				5
	human parvovirus B19						1	1			2
	Rhinovirus		1				3	1			5
	計		4			6	22	13	3		48
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus			1							1
	Human herpes virus 7		1	1	1			1	1		5
	human parvovirus B19			1	1						2
	Rhinovirus	1									1
	計	1	1	3	2			1	1		9
突発性発疹	Epstein-Barr virus					1					1
	Human herpes virus 6			1		1					2
	計			1		2					3
流行性耳下腺炎	Rhinovirus			1		1					2
	計			1		1					2
無菌性髄膜炎	Rhinovirus						1				1
	計						1				1
その他	Adenovirus 1		1								1
	Adenovirus 2		1								1
	Adenovirus C				1						1
	Astrovirus NT				1						1
	Coxsackievirus A6						1	2		1	4
	Cytomegalovirus	1	3						1		5
	Epstein-Barr virus	1		1							2
	Human herpes virus 6								1		1
	Human herpes virus 7	1	2		1			2	2		8
	Norovirus GI NT				1						1
	Norovirus GII NT	1	1					1	1		4
	Parechovirus 3							1			1
	Respiratory syncytial virus B		1								1
	Rhinovirus	2	3	1	1	2		3	3		15
	Rotavirus group A G3		1								1
	計	6	13	2	5	2	1	9	8	1	47
総計		13	25	15	14	21	25	24	18	3	158

臨床診断名	病原微生物	2026年									2026年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
急性呼吸器感染症	Adenovirus NT	1									1
	Adenovirus C							1			1
	Adenovirus 2					1					1
	Coxsackievirus A6							1			1
	Enterovirus NT	1	2								3
	Human metapneumovirus		1							1	2
	Influenza virus A H1pdm09								1	4	5
	Influenza virus A H3 NT	4	3								7
	Influenza virus A NT	1	1								2
	Influenza virus B/Victoria	3	5		1						9
	Parainfluenza virus 1							1			1
	Parainfluenza virus 2	2									2
	Parainfluenza virus 3							1			1
	Parainfluenza virus 4	1	1								2
	Respiratory syncytial virus A	1	1	1						2	5
	Respiratory syncytial virus B		1	3	1						5
	Rhinovirus	5	2	1	1	1		1	1		12
	SARS-CoV-2	8			1			2	5		16
検査検体数		20	13	6	4	2	0	7	6	8	66
検出検体数		19	12	5	3	2	0	6	6	6	59
検出率 (%)		95.0	92.3	83.3	75.0	100.0		85.7	100.0	75.0	89.4

1つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上しています。